

日本甲状腺学会 次世代研究者の会 (NexT-JTA)

会報 Vol. 3

2026年1月31日



編集

NexT-JTA 世話人

(代表) 名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 岩間信太郎

群馬大学大学院医学系研究科 応用生理学分野 天野出月

京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 山内一郎

伊藤病院 内科 鈴木菜美

2025年 活動報告

日本甲状腺学会 次世代研究者の会 (Next-generation committee of Thyroidologist in the Japan Thyroid Association: NexT-JTA)は、「若手研究者の育成・支援」を目的として 2023 年 2 月に活動を開始し、3 年目を迎えました。本会は、設立当初 20 名で活動を開始し、毎年学術集会後に新規入会者を迎え、現在の会員数は 45 名となっております。今年度の本会の活動について、この場をお借りしてご報告申し上げます。

第 68 回日本甲状腺学会学術集会では、会長の志村浩己先生のご厚意により、第 3 回 NexT-JTA シンポジウム「研究テーマの掘り出し方: 問いから始まる研究の旅」を開催させていただきました。本シンポジウムは、天野出月先生(群馬大学)、家里明日美先生(公益財団法人がん研究会)が中心となって企画し、NexT-JTA 会員から藤澤諭先生(岡山大学)、伊澤正一郎先生(鳥取大学)、岩間信太郎先生(名古屋大学)、フロントランナーの先生から鳴海覚志先生(慶應義塾大学)よりご講演いただきました。各先生が、研究の道に進んだ過程、続けていく上での工夫、重要なマインドセットなど、アトラクティブに示していただき、参加者とのディスカッションも濃厚に行われました。

2025 年 8 月には第 1 回 NexT-JTA サマーセミナーを Web 開催いたしました。濱田勝彦先生(田尻クリニック)からは現在実施中の臨床研究、呉壮香先生(Dana Farber Cancer Institute)からはご自身の留学経験についてご講演いただき、ディスカッションが尽きないほど盛況でした。学術集会 3 日目に開催した第3回全体会合でも、シンポジウム、サマーセミナー、ニュースレターへの寄稿と、NexT-JTA の活動の幅を広げるために熱気ある議論が行われました。

NexT-JTA は会員を広く募集しておりますので、入会を希望される方は学会事務局へ御連絡ください。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(日本甲状腺学会ニュースレター 2026年1月 第70号掲載分を一部改変)

第3回 NexT-JTA シンポジウム
研究テーマの掘り出し方:問いから始まる研究の旅

講演1 藤澤諭先生
「Clinical Question を Research Question に」



講演2 伊澤正一郎先生
「臨床の疑問から始まった私の研究
—甲状腺癌を標的とした自己抗体検査と異分野連携で得たもの—」



講演 3 岩間信太郎先生
「問い続ける臨床、挑み続ける研究」



講演4 鳴海覚志先生
「「問い」を再考する」



第3回全体会合 集合写真



第1回 Next-JTA サマーセミナー 集合写真



第1回 NexT-JTA サマーセミナー

日時：2025年8月26日（火）

18:30～19:30

（Zoom開催）

対象：NexT-JTAメンバー

要事前参加登録

QRコードを読み込むか、クリックしてください



【プログラム】

18:30-18:35

開会の挨拶： 岩間 信太郎（名古屋大学）

企画趣旨紹介： 山内 一郎（京都大学）

18:35-18:55 講演1

座長： 鈴木 菜美（伊藤病院）

演者： 濱田 勝彦（田尻クリニック）

18:55-19:15 講演2

座長： 天野 出月（群馬大学）

演者： 呉 壮香（Dana-Farber Cancer Institute がん免疫研究室）

19:15-19:30 座談会

テーマ： 「生成AIの活用」、「最近気になった科学的話題」

ファシリテーター： 山内 一郎（京都大学）

19:30-19:35

閉会の挨拶： 山内 一郎（京都大学）

学術集会シンポジウムのお知らせ： 天野 出月（群馬大学）

【主催】 日本甲状腺学会 次世代研究者の会（NexT-JTA）

NexT-JTA

日本甲状腺学会 次世代研究者の会

会員リスト・自己紹介

<世話人>

岩間 信太郎（名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）（代表）
天野 出月（群馬大学大学院医学系研究科 応用生理学分野）
山内 一郎（京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学）
鈴木 菜美（伊藤病院 内科）

<会員>

伊澤 正一郎（鳥取大学医学部 循環器・内分泌代謝内科学）
木村 哲也（大阪大学微生物病研究所 代謝免疫学グループ）
呉 壮香（Dana-Farber Cancer Institute Medical Oncology/日本医科大学 統御機構診断病理学）
三小田 亜希子（国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター プレコンセプションケアセンター/女性総合診療センター 女性内科）
田村 温美（東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科学分野/米国国立衛生研究所）
中尾 佳奈子（国立国際医療研究センター研究所 疾患ゲノム研究部）
中野 賢英（昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター）
濱田 航一郎（長崎大学病院 総合診療科）
平塚 いづみ（藤田医科大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科学）
藤澤 諭（岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科）
藤田 直也（防衛医科大学校 総合臨床部）
松瀬 美智子（長崎大学 原爆後障害医療研究所 放射線災害医療学研究分野）
松本 和久（鳥取大学医学部 循環器・内分泌代謝内科学分野）
森下 啓明（愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科）
山口 直哉（名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野）
山田 宏哉（藤田医科大学医学部 衛生学教室）
家里 明日美（公益財団法人がん研究会 NEXT-Ganken プログラム）
岩崎 源（東京医科大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）
桐谷 光夫（帝京大学医療技術学部 臨床検査学科）
蛭間 重典（東邦大学 内科学講座 糖尿病代謝内分泌学分野）
山崎 春彦（横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科）
新井 信晃（杏林大学医学部 呼吸器・甲状腺外科）
上田 真由（長崎大学 原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学/長崎大学病院 内分泌・代謝内科）

酒匂 あやか（長崎みなとメディカルセンター 糖尿病・内分泌内科）
長岡 竜太（日本赤十字社医療センター 乳腺・甲状腺外科）
濱田 勝彦（田尻クリニック）
谷古宇 史芳（東京医科大学 八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科）
杉澤 千穂（昭和大学藤が丘病院 内科(糖尿病・代謝・内分泌)）
星 雅恵（金地病院 外科）
渡邊 琢也（JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター 糖尿病内分泌内科）
竹島 健（和歌山県立医科大学 内科学第一講座）
中路 啓太（長崎大学 原爆後障害医療研究所 放射線災害医療学研究分野）
江藤 真実（隈病院 内科/長崎大学 原研医療）
川本 晃史（順天堂大学医学部 放射線治療学講座/金地病院）
志村 和浩（慶應義塾大学医学部 小児科学教室）
福井 直子（東京大学医科学研究所附属病院 腫瘍・総合内科）
正木 千恵（伊藤病院 外科）
宮村 慧太郎（隈病院 内科）
數阪 広子（日本医科大学 内分泌外科）
木村 貞仁（京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学）
鄭 博元（長崎大学原爆後障害医療研究所 分子腫瘍・診断学分野）

（入会日順、五十音順、敬称略）

	<p>世話人代表 岩間 信太郎(いわま しんたろう) 名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科</p> <p>自己免疫が関連する甲状腺疾患および下垂体疾患について、自己抗原の解明やバイオマーカーの開発に関する研究を行っています。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/IWAMA-728</p>	

	<p>世話人 天野 出月(あまの いづき) 群馬大学大学院医学系研究科 応用生理学分野</p> <p>甲状腺ホルモンの脳発達、神経機能への影響に関する基礎研究を行っています。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/izukiamano</p>	

	<p>世話人 山内 一郎 (やまうち いちろう) 京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学</p> <p>主に甲状腺生理学に焦点を当てた研究を行っています。機能亢進症、機能低下症、脱ヨード酵素、ホルモン作用評価など、興味は尽きないです。特に成果が臨床に直結するようなトランスレーショナルリサーチを推進していきたいと思っています。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/ichiroy 教室 HP https://diabendonutri.kuhp.kyoto-u.ac.jp/</p>	

	<p>世話人 鈴木 菜美 (すずき なみ) 伊藤病院 内科</p> <p>日常臨床における疑問をもとに、主に自己免疫性甲状腺疾患に関する臨床研究を行っています。甲状腺疾患専門病院という特性を生かし、臨床の側面からアプローチした研究に興味があります。</p>

	<p>伊澤 正一郎 (いざわ しょういちろう) 鳥取大学医学部 循環器・内分泌代謝内科学</p> <p>甲状腺疾患をはじめとする内分泌代謝内科の専門診療や教育を行いながら、自己抗体に着目した甲状腺癌の新規診断法開発に取り組んでいます。また教室では内分泌グループの責任者として甲状腺眼症や睡眠障害など甲状腺疾患の合併症に注目した臨床研究、治験に取り組んでいます。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/sho_izawa</p>	

	<p>木村 哲也 (きむら てつや) 大阪大学微生物病研究所 代謝免疫学グループ (研究室主宰者)</p> <p>専門医取得後、基礎研究を続けています。これまでマクロファージとリソソーム、mTOR シグナル経路に関する研究を行ってきました。これらの研究で培った知見・技術を、内分泌代謝領域の研究で今後活かしたいと考えています。共同研究の御依頼や、研究に関する御質問がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/kimura-tetsuya 教室 HP http://www.biken.osaka-u.ac.jp/laboratories/detail/63 e-mail: tetsuyakimura@biken.osaka-u.ac.jp</p>	

	<p>呉 壮香 (くれ しょうこ) Dana-Farber Cancer Institute Medical Oncology /日本医科大学 統御機構診断病理学</p> <p>診断病理医として臨床診療に従事する傍ら、甲状腺腫瘍の診断や治療に関わるバイオマーカーについて分子病理学的な側面から研究を行ってきました。現在はアメリカの Dana-Farber Cancer Institute にて、癌免疫の研究に携わっています。この会を通して、分野の垣根を超えた交流をさせていただきたいと考えています。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/skure</p>	

準備中	<p>三小田 亜希子(さんこだ あきこ)</p> <p>国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター プレコンセプションケアセンター/女性総合診療センター 女性内科</p> <p>胎内環境と母児の周産期・長期予後の関係を、臨床疫学研究、データ統合型研究、リアルワールドデータ研究などの手法を用いて検討しています。女性内科、成育医療の視点から、次世代を担うこどもたちとその家族の健康づくりに貢献したいと考えています。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/asankoda/</p> <p>教室 HP https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/jyosei/</p>	

準備中	<p>田村 温美 (たむら あつみ)</p> <p>東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科学分野/米国国立衛生研究所 (National Institutes of Health, National Cancer Institute)</p> <p>バセドウ病などの良性疾患から、高度進行甲状腺癌や未分化癌に至る幅広い甲状腺疾患に対して、手術を含む外科的治療を中心に診療に取り組んでいます。現在は米国国立衛生研究所にて、甲状腺癌の発癌メカニズムに関する基礎研究に従事しています。</p>
-----	--

	<p>中尾 佳奈子 (なかお かなこ)</p> <p>国立国際医療研究センター研究所 疾患ゲノム研究部</p> <p>内分泌内科医ですが、移行期医療に関心を持ったことをきっかけに、小児内分泌学を臨床・研究の両面から学んできました。</p> <p>先天性甲状腺疾患の分子病態解明や、遺伝型-表現型解析に興味を持って取り組んでいます。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/kanako tn</p>	

	<p>中野 賢英 (なかの まさひで) 昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター</p> <p>悪性高熱症の責任遺伝子モデル作成についての研究を行い、2014年に博士(医学)を取得しました。現在は、甲状腺外科医として活動している中で、甲状腺結節性病変に対する低侵襲治療としてのラジオ波焼灼療法の可能性について、国内での臨床研究を進めています。</p>
<p>教室 HP http://thyroidcenter.jp/</p>	

<p>準備中</p>	<p>濱田 航一郎 (はまだ こういちろう) 長崎大学病院 総合診療科</p> <p>遺伝子改変甲状腺癌マウスモデルを用いて、ミトコンドリア品質管理機構の異常と甲状腺の腫瘍化との関係に関する研究を行い、2023年に博士(医学)を取得しました。引き続き、甲状腺癌マウスモデルを用いた研究を行っています。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/k-hamada</p>	

<p>準備中</p>	<p>平塚 いづみ (ひらつか いずみ) 藤田医科大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科学</p> <p>Coming soon</p>

	<p>藤澤 諭 (ふじさわ さとし) 岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科</p> <p>岡山大学大学院で 2019 年に博士(医学)を取得し、京都大学の公衆衛生大学院で臨床研究について学びました(臨床研究者養成コース: MCR 18 期生)。現在は患者報告アウトカム(Patient-Reported Outcome)に着目した研究を行っております。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/fuji_sa</p>	



藤田 直也 (ふじた なおや)
防衛医科大学校 総合臨床部

破壊性甲状腺炎をバセドウ病から鑑別する新規バイオマーカーとしての血中 DIT(ジヨードチロシン)の有用性について多機関共同研究を行っています。詳細は公開文書を御覧ください。

公開文書 <https://www.ndmc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/07/4494.pdf>



松瀬 美智子 (まつせ みちこ)
長崎大学 原爆後障害医療研究所 放射線災害医療学研究分野

甲状腺癌の発癌・進展メカニズム、甲状腺未分化癌に対する新規分子標的治療、甲状腺癌幹細胞に関する基礎的研究を行ってきました。今後も甲状腺癌の患者さんのための、より正確な診断、より効果的な治療に貢献できるような研究を行っていきたいと考えています。

Researchmap <https://researchmap.jp/7000002016>

教室 HP <https://www.genken.nagasaki-u.ac.jp/drms/>



松本 和久 (まつもと かずひさ)
鳥取大学医学部 循環器・内分泌代謝内科学分野

バセドウ病と睡眠障害の関連性について臨床研究を行い、2022 年に博士(医学)を取得しました。甲状腺疾患を中心に内分泌代謝疾患に関する臨床研究を取組んでおります。

Researchmap <https://researchmap.jp/kazu-matsumoto>

	<p>森下 啓明（もりした よしあき） 愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科</p> <p>内分泌細胞における小胞体ストレスを研究テーマにしており、2011年に名古屋大学で学位を取得しました。2012年より4年間ミシガン大学 Peter Arvan 研究室に留学し、以来甲状腺濾胞細胞における小胞体ストレスと細胞生存について基礎研究を続けております。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/y morishita 教室 HP https://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0607/su060703/06.html</p>	

	<p>山口 直哉（やまぐち なおや） 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野</p> <p>先天性甲状腺機能低下症(CH)の原因となるヨードトランスポーター遺伝子の研究を主にモデルマウスを用いて行っております。ヨードトランスポーターに関する研究を通して、CH の病態や甲状腺でのヨード動態の解明を目指しています。</p>

<p>準備中</p>	<p>山田 宏哉（やまだ ひろや） 藤田保健衛生大学医学部 衛生学教室</p> <p>Coming soon</p>

	<p>家里 明日美 (いえさと あすみ) 公益財団法人がん研究会 NEXT-Ganken プログラム がん細胞多 様性解明プロジェクト</p> <p>乳腺内分泌外科医として約 10 年臨床に従事した後、甲状腺癌の未分 化転化、微小環境が分子標的治療(レンバチニブ)効果に及ぼす影響 について研究してきました。現在は癌のリンパ管侵襲における、がん と微小環境の相互作用の研究に取り組んでいます。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/asumiieasto 研究室 HP https://www.jfcr.or.jp/next-ganken/</p>	

<p>準備中</p>	<p>岩崎 源 (いわさき げん) 東京医科大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科</p> <p>Coming soon</p>

<p>準備中</p>	<p>桐谷 光夫 (きりや みつお) 帝京大学医療技術学部 臨床検査学科</p> <p>主に甲状腺培養細胞を用いた基礎研究を行っており、甲状腺ホルモ ン前駆体であるサイログロブリンが持つ、強力な濾胞機能制御機構の 解明研究を行っています。また、濾胞上皮細胞内腔側に発現する新規 ヨード輸送体 SLC26A7 の機能制御機構の解明研究などにも取り組 んでおります。</p>

	<p>蛭間 重典 (ひるま しげのり) ひるま甲状腺クリニック蒲田/金沢医科大学/伊藤病院</p> <p>東邦大学大学院にて異所性脂肪の研究で博士号を取得しました。2023 年にバセドウ病への RI 治療と甲状腺癌発症リスクについての研究で YIA をいただき本会に参加しております。現在は甲状腺専門クリニック院長職と伊藤病院非常勤医として臨床に従事、金沢医科大学で甲状腺学の学生講義・医局員指導を担当しております。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/anti-aging 所属 HP アドレス https://hiruma-thyroid.com/</p>	

	<p>山崎 春彦 (やまざき はるひこ) 横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科</p> <p>甲状腺腫瘍の診断や手術のみならず、進行甲状腺癌に対する薬物治療も行っています。臨床研究では日本の甲状腺腫瘍診療ガイドラインや新たな甲状腺癌取扱い規約の妥当性、甲状腺濾胞癌に関する研究結果を報告してきました。今後も臨床に役立つような研究をすすめていきたいと思っています。</p>

	<p>新井 信晃 (あらい のぶあき) 杏林大学医学部 呼吸器・甲状腺外科</p> <p>甲状腺外科医として甲状腺腫瘍やびまん性甲状腺腫の診療に従事しています。博士課程では乳がんの代謝変化が薬物療法の奏効性をなぜ上げるのかをテーマに研究しました。現在は、甲状腺癌の未分化転化を metabolic reprogramming の視点から解明すべく研究を進めたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/n0arai</p>	

<p style="text-align: center;">準備中</p>	<p>上田 真由 (うえだ まゆ) 長崎大学 原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学/長崎大学病院 内分泌・代謝内科</p> <p>2024 年に学位を取得後、内分泌内科医として臨床診療を継続しながら、病理学教室で甲状腺腫瘍の分子病理学的特徴解析を行っています。甲状腺癌の診断や治療に貢献できるような研究を目指して取り組みたいです。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/mayu_ueda</p>	

<p style="text-align: center;">準備中</p>	<p>酒匂 あやか (さこう あやか) 長崎大学病院 内分泌代謝内科</p> <p>長崎大学原研医療にて甲状腺乳頭癌の悪性度と TERT プロモーター変異、TERT mRNA スプライシングバリエーションの関連について基礎研究を行い、2024 年に博士(医学)を取得しました。今後も甲状腺癌の患者さんの病態解明や治療に繋がる基礎研究を続けていきたいと考えています。</p>

	<p>長岡 竜太 (ながおか りゅうた) 日本赤十字社医療センター 乳腺・甲状腺外科</p> <p>甲状腺、副甲状腺の外科治療を日々行っており、頸部に傷跡を残さない内視鏡手術を専門にしています。内視鏡手術普及のための技術指導活動を行う一方で、患者 QOL 研究や多施設共同研究に取り組んでいます。</p>

準備中	<p>濱田 勝彦（はまだ かつひこ） 田尻クリニック</p> <p>日々たくさんの甲状腺疾患の患者さんを診るなかで、診療の疑問点・患者さんが困っていることを見つけ、少しでもそれらの解決に繋がる臨床研究を行っていきたいと考えています。</p>
-----	--

準備中	<p>谷古宇 史芳（やこう ふみよし） 東京医科大学 八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科</p> <p>Coming soon</p>
-----	--

	<p>杉澤 千穂（すぎさわ ちほ） 昭和大学藤が丘病院 内科(糖尿病・代謝・内分泌)</p> <p>先天性甲状腺機能低下症の分子病態の解明をテーマに研究を開始しました。現在は甲状腺機能低下症に関連する遺伝子変異に関して、臨床的な見地から研究を継続しています。</p>
---	---

準備中	<p>星 雅恵（ほし まさえ） 金地病院 外科</p> <p>大学在籍中は肺転移を認める甲状腺乳頭癌転移マーカーに関するプロテオーム解析の研究を行い、2013 年度に学位を取得しました。現在は甲状腺専門病院にて甲状腺疾患全般の診療に取り組んでいます。</p>
-----	---

	<p>渡邊 琢也 (わたなべ たくや) JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター</p> <p>群馬大学で内分泌学の楽しさを学び、現在は市中病院のいち臨床医として内分泌、糖尿病診療に勤しんでおります。近年は特に肥満症に注目しており、エネルギー代謝の観点から改めて甲状腺学的重要性を感じております。Next-JTA に在籍できる期間も残り少ないですが、皆様どうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>https://researchmap.jp/takuyaw-gunma202312</p>	

<p>準備中</p>	<p>竹島 健 (たけしま けん) 和歌山県立医科大学 内科学第一講座(糖尿病・内分泌・代謝内科)</p> <p>甲状腺疾患をはじめ、副腎、下垂体を含む内分泌代謝疾患の専門的治療を行いつつ、学生、研修医などの教育・指導にも取り組んでいます。また、IgG4 関連疾患の厚生労働省班会議で分担研究者として内分泌領域(主に下垂体、甲状腺)を担当しており、IgG4 関連甲状腺疾患の診断基準を提言致しました。</p>
<p>教室 HP https://wmu-ichinai.com/</p>	

	<p>中路 啓太 (なかじ けいた) 長崎大学 原爆後障害医療研究所 放射線災害医療学研究分野</p> <p>甲状腺乳頭癌の放射性治療抵抗性に関連する遺伝子変異や臨床病理学的指標についての研究を行ってきました。今後も甲状腺癌を中心に臨床研究・基礎研究を行っていきたいと考えております。</p>
<p>教室 HP https://www.genken.nagasaki-u.ac.jp/drms/</p>	

	<p>江藤 真実 (えとう まみ) 隈病院 内科/長崎大学 原研医療</p> <p>放射性ヨウ素内用療法不応性甲状腺癌についての研究を行っています。臨床診療を続けながら、基礎研究にも取り組んでいきたいと考えています。</p>
---	--

<p>準備中</p>	<p>川本 晃史 (かわもと てるふみ) 順天堂大学医学部放射線治療学講座/金地病院</p> <p>日常臨床では癌全般を診療しておりますが、甲状腺に関しては臨床研究は甲状腺癌に対する内用療法、外部放射線治療、甲状腺眼症に対する外部放射線治療に取り組んでおります。</p>
<p>Researchmap https://researchmap.jp/t-kawamoto</p>	

<p>準備中</p>	<p>志村 和浩 (しむら かずひろ) 慶應義塾大学医学部 小児科学教室</p> <p>非自己免疫性甲状腺機能亢進症における TSHR 遺伝子バリエントについて研究しています。症例数の多くない小児の甲状腺分野において、臨床に近い観点から新しい知見を得られるよう、今後も研究を行っていきたいと考えています。</p>
------------	--

<p>準備中</p>	<p>福井 直子 (ふくい なおこ) 東京大学医科学研究所附属病院 腫瘍・総合内科</p> <p>内分泌・甲状腺疾患の診療で得られる知見を日常診療に活かせる臨床研究につなげていきたいと考えています。</p>
------------	---

	<p>正木 千恵 (まさき ちえ) 伊藤病院 外科</p> <p>伊藤病院にて外科診療に携わりつつがん研究所にて甲状腺乳頭癌における STAT3 発現を解析し、2026 年に博士(医学)取得となりました。治療介入不要な静的な症例から致死的な症例まで幅広い予後を示す甲状腺癌により良いがん診療を行えるよう、臨床と臨床以外の角度からの両方の目線も持っていければと思います。</p>
	<p>宮村 慧太郎 (みやむら けいたろう) 隈病院 内科</p> <p>東京医科歯科大学 国際健康推進医学分野(現東京科学大学 公衆衛生学分野)にて疫学研究を行い 2021 年に学位を取得しました。現在単施設のデータになりますが、主にバセドウ病に関する臨床研究を始めたところです。</p>
	<p>數阪 広子 (かずさか ひろこ) 日本医科大学 内分泌外科</p> <p>甲状腺微小癌患者の患者報告アウトカムを解析した研究を行い、2025 年に博士(医学)を取得しました。現在は甲状腺外科医として診療を行う傍ら、進行甲状腺癌の薬物療法や経過観察中の微小癌に対する TSH 抑制療法研究も進めています。</p>

	<p>木村 貞仁 (きむら さだひと) 京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学</p> <p>大学卒業後、市中病院にて 5 年間糖尿病内分泌内科の臨床医として研修した後、2023 年より大学院博士課程にて学んでおります。現在は、甲状腺ホルモンかく乱物質の作用を多臓器で同時に解析可能なマウスモデルの構築を行い、ヒトにおける健康影響評価へとつなげる研究に取り組んでおります。</p>

<p>準備中</p>	<p>鄭 博元 (てい はくげん) 長崎大学原爆後障害医療研究所 分子腫瘍・診断学分野</p>

日本甲状腺学会 次世代研究者の会 内規

1. 名称

日本語名称：日本甲状腺学会 次世代研究者の会

英語名称：Next-generation committee of Thyroidologist in the Japan Thyroid Association

英語略称：NexT-JTA

2. 目的

日本の甲状腺研究を発展させるため、有機的な交流及び活動の場を提供することにより、若手研究者を育成・支援することを目的とする。

3. 体制

- 1) 活動を円滑に進めるため、担当理事の下に世話人を若干名置き、企画運営にあたる
- 2) 世話人は、原則として臨床分野（内科/外科/小児科含む）より 2-3 名、基礎分野より 1-2 名を選出する。世話人代表を世話人内より 1 名選出する。
- 3) 世話人の任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。
- 4) 世話人代表および世話人の交代については、本会世話人同士の合議により候補者を挙げ、理事会による承認を得る。なお、世話人同士の合議による候補者決定に難渋する際には担当理事が裁定する。

4. 入会基準

- 1) 七條賞、ヤマサ基礎医学研究助成、コスミック研究創成賞、ロシュ若手奨励賞のいずれかを受賞し、本会の趣旨に賛同する 45 歳以下の日本甲状腺学会員。
- 2) 上記以外に、博士号を取得した 45 歳以下の日本甲状腺学会員から入会希望があれば、随時受け付ける。

日本甲状腺学会学術集会終了後から 3 ヶ月以内に、本会に未入会の受賞者に対し、入会を案内する。

5. 退会基準

- 1) 48 歳となる年度の 3 月末日をもって退会とする。
- 2) 教授職（またはそれに相当する職）に就任した場合には、その年度の 3 月末日をもって退会とする。
- 3) 専門医療機関あるいは研究機関を離れて研究継続が事実上困難となった場合には、その年度の 3 月末日をもって退会とする。
- 4) 上記以外に退会希望があれば随時受け付ける。

6. 活動内容

- 1) 本会は、少なくとも年1回の全体会合を開催する。原則として、日本甲状腺学会学術集会にあわせて開催する。
- 2) 日本甲状腺学会学術集会における若手シンポジウムを当該の学術集会長と相談して企画・開催する。
- 3) セミナー形式の会議を開催し、会員同士による情報交換を推進する。
- 4) 1)~3)に限らず、甲状腺学の発展に寄与する若手研究者の活動を支援する。

2023年2月14日 第1版

2025年11月27日 第2版